

# 全国協議会 ニュース

2008年9月1日発行  
第195号

発行所  
特定非営利活動法人  
全国骨髄バンク  
推進連絡協議会  
〒160-0005 東京都  
新宿区愛住町23-1  
Woody21-9階  
TEL.(03)3356-8217  
FAX.(03)3356-8637  
発行責任者:中野勝博  
http://www.marrow.or.jp/  
E-mail:office@marrow.or.jp

郵便振替口座  
00150-4-15754  
銀行口座  
三井住友銀行 新宿通支店  
普通 5666655

## 大谷貴子会長 保健文化賞受賞!

当協議会の大谷貴子会長が、第一生命主催(後援:厚生労働省・朝日新聞厚生文化事業団・NHK厚生文化事業団)の平成20年度保健文化賞(個人の部)を受賞しました。



講演活動を行う大谷会長(写真左)

が悪化しているなか、日本の保健衛生の向上に取組む人々に感謝の意を捧げる意味で創設され、これまで多くの団体・個人の方々が受賞されてきました。

近年は時代の流れを映すがごとく、保健医療、地域保健、生活環境、高齢者福祉など、多岐の分野にわたって授与されているようです。

大谷会長の受賞理由は「慢性骨髄性白血病に罹患し、骨髄移植を受けた経験から、骨髄バンクの設立に奔走した。システムの整備と並行して国民へのドナー登録の啓発活動を精力的に行い、骨髄移植の

推進に多大なる貢献をした」とされています。

個人の受賞ではありませんが、骨髄バンクを作ろうと共に活動しながらも、その設立を見ることなく亡くなられた多くの仲間や、これまでの活動を支え、応援してくれた全国のボランティアを代表して大谷会長が頂くのだと思っております。みんなで大いに今回の受賞を喜びたいと思っております。

10月8日に贈呈式が行われ、翌9日には他の受賞者の方々と共に、皇居に参内し、天皇・皇后両陛下に拝謁を賜われることとなります。

## 三井化学グループで「ドナー休暇相当の休み」取得制度制定

ドナー登録者が着実に増加している一方で、ドナー候補者が骨髄提供を行うための環境の整備は、いまだ不十分と考えられます。民間企業におけるドナー休暇未整備も、解決すべき大きな課題です。三井化学におけるボランティアの、そして、社をあげての取り組みをご紹介します。

千葉の会の梅田(三井化学勤務)です。円東さんと共に92年頃から社内骨髄バンクの普及啓発活動を行ってきま

した。94年から千葉工場(現市原工場)の秋まつりで会社の支援を受けて骨髄バンクコーナーのテントを設置して、バンクの広報と募金活動、後に説明会も行ってきました。このまつり(現三井化学フェスティバル)の活動は現在も続いています。

このような環境の中で95年に私がドナーになったときに初めて会社側にドナー休暇制度導入をお願いしました。このときは時期尚早とのことでしたが、私の休みは人事課長



07年9月23日、三井化学フェスティバルにて

の英断でドナー休暇と同じ有給休暇扱いとなりました。00年8月には全国初となる

企業での献血併行登録会を市原工場で行うことを企画し、健康管理室の協力を得て実施しました。以降00年9月に袖ヶ浦センター、01年3月に市原工場、01年5月に岩国大竹工場、そして02年9月に袖ヶ浦センターで献血併行登録会を開催しました。この間、労働組合側からも支援を頂き、機会あるごとに会社側にドナー休暇制度の導入をお願いしてきました。

この一連の会社への働きかけが実り、08年8月1日付で三井化学グループの「社員の社会活動にかかわる制度の制定」ということで「社会活動休暇(2日/年以内)」と「特別休暇(8日/年以内)」を組み合わせることで「ドナー休暇」に相当する休暇が有給で取れることになりました。十余年にわたる活動の大きな成果であり、嬉しく思います。(千葉の会 梅田)

## 麻酔医不足問題小考

今年の4月初旬、わが国のがん治療の中心あるいは最先端とも言えるべき国立がんセンターで、麻酔医の退職が相次ぐというニュースが伝えられました。要約すると、常勤麻酔医10人中5人が退職し、手術件数を2割減らす事態に陥ったとのこと。

言われています。このことと、最初に述べた国立がんセンターでさえも麻酔医が不足していることを考え合わせると、13施設の中には麻酔医の不足している施設が複数含まれている可能性は高いと考えられます。

そして3ヵ月後の7月初旬、今度は、全国に351施設あるがん診療連携拠点病院の中でも、さらにその中心的役割を担う都府県拠点病院47施設(未回答2施設)のうち13施設において、手術に携わる外科医あるいは麻酔医が不足しているという実態が公表されました。個々の医療機関で不足しているのが麻酔医なのか外科医であるのかの詳細は、残念ながら把握できていません。しかし、骨髄採取に際しては麻酔医によるドナーの管理が必須である以上、たとえ一施設だけであるとしても、この問題を看過するわけにはいきません。

わが国には、全身麻酔を実施している医療施設が約四千ありますが、その半数で慢性的に麻酔医が不足していると

## 2008年度賛助会員(7月22日~8月22日)

アステラス製薬株式会社 東京町田グリーンライオンズクラブ  
横浜神奈川東ライオンズクラブ 大宮シティロータリークラブ  
瑞浪桔梗ライオンズクラブ 横浜あおばライオンズクラブ  
森山久 (敬称略)

全国協議会の活動にご賛同頂き、誠にありがとうございました。引き続き、企業・団体のほか、個人の皆様からのご協力も募っております。どうぞよろしく願いいたします。

団体(法人) 年会費 1口5000円  
個人会員 年会費 1口2000円  
※お申し込みは全国協議会事務局までお願いいたします。

## 「ドナーになるってどんなこと?」増刷いたしました!!

2006年3月に全国協議会でドナー向け小冊子として発行した「ドナーになるってどんなこと?」。既に各地での普及啓発活動やドナー登録会の会場で活用していただいています。この度、三井化学(株)の社会貢献活動「チビッコトンコン」から助成金を頂き、増刷をいたしました。

本誌にはドナー登録後、HLAの一致した患者さんが見つかるまでの行程や、よくみなさんから質問頂く内容がQ&A方式でまとめられています。また実際に骨髄提供を受けた元患者さんや提供したドナー経験者らの体験談も掲載されており、「とても判りやすい!」と好評です。みなさまからの要望にお応えして、今年度中を目途に、続編の家族編・企業編も作成予定で、現在準備中です。冊子ご希望の方は全国協議会事務局までお申し込みください。



## 「ハローキティクリアファイル」ができました。

みなさんから作成のご要望が多かったハローキティのクリアファイルができました。前面にはキティちゃんがちりばめられたとてもキュートなデザインでブルーとピンクの2色です。普及啓発活動や募金活動にぜひご活用ください!

10枚単位でご注文を承りますが、それに満たないご注文の場合は事務局までご相談ください。



### 【ご注文は】

地元の骨髄バンク支援団体・または「特定非営利活動法人 全国骨髄バンク推進連絡協議会」へ  
〒160-0005 新宿区愛住町23-1 Woody21 9F  
TEL: 03-3356-8217・FAX: 03-3356-8637

※ご注文はお早め!



各地のたよりを  
写真を添えて  
お寄せください。

### 青森 ほほえみハワイで 市民公開講座大盛況

街にねぶた囃子の練習の音があふれ出した7月19日、青森市の駅ビルで開催された市民公開講座「骨髄移植を知ろう」には、150名を超える来場者がありました。

平成18年から青森県骨髄バンク推進協議会ほかの共催で開催しているこのイベントも、回を重ねること4回。今回は、医療関係者によるセミナー、患者やドナー自身の体験談に加え、広く一般の方にも参加していただくための新たなアプローチとして、県の『ほほえみプロデューサー事業』の出前講座を活用し、「ちよつと元気をなくしている相手の心に寄り添ってほほえみを引き出す」ためのワークショップを実施。参加者の癒し



7月26日、小郡花火大会会場にて「みい青年会議所」のご支援により、骨髄バンク推進キャンペーンとして普及啓発活動が行われました。骨髄バンクブースは会場の一等地で、みい青年会議所が骨髄バンク活動のために作成したのぼりや飾り、ブース周りではパンフレットとティッシュを配り、参加者全員で骨髄バンクへの理解と協力を呼びかけました。また、会場ステージにおいては九州の会のメンバー2人が骨髄バンクの必要性を呼びかけ、非常に有意義な一日でした。福岡血液センターからボランティア参加され一緒に

### 福岡 夢日ANABI 会場でドーンとPR

8月21日、「愛・命・人権」をテーマに、毎年夏に行われる連合新潟上越地域協議会の平和集会で、「健康な人にならなければ愛のおくりもの」と題する講演会が開催されました。

### 新潟 連合上越 平和集会で講演

それまで元気だった雄太君が突然難病を発症、骨髄バンクでは提供者が見つからず、臍帯血移植に踏み切りました。移植が体に与えたダメージの大きさを病気が進行し、最後には自分で体を動かすことも、話すこともできなくなっていました。いまも



もできなくなっていました。そして10歳で天国に旅立っていきました。小さな体で病気と戦い、生きることをあきらめなかった雄太君の姿に、会場にいる大人たちは、多くの事を感じたと思います。そして弟の翔太君が骨髄バンクを介して骨髄移植を行い元気になった話に、骨髄バンクを充実させることの必要性も実感してくれたことと思います。

第2部では、ドナー体験者の松井康哲さんを交えて、登録から提供までの流れと、痛みやリスクへの不安をどのように乗り越え、家族の同意を得てきたかを、本音で話してもらいました。松井さんの場合、妻は同意してくれましたが、遠く離れて暮らす両親は反対でした。「健康に生んで、育ててくれたこと、命

のつながりに感謝し、だからこそ、今、私にしか助ける事ができない患者さんの命を助けたいと伝え、承諾してもらった」と話しました。講演会の冒頭で、議長の小山政彦さんは会場に集まったおよそ400人の組合員の皆さんにご自身も登録されたこと、さら

いつか必ず帰る  
年末より風邪気味で微熱があり、熱が下がらないため、1月21日に自宅近くの病院で診察、念のため血液検査で白血球の異常を指摘されました。翌22日A病院で精密検査をしたところ、緊急入院となりました。以来140日間、化学療法治療(抗がん剤投与を計5回)を予定通り行い、6月10日に退院しました。今は月1回の外来通院をしているが体調も良く生きる喜びを感じています。

お刺身などの生ものもこれからは食べていいですよ。人ごみにも出かけていいですよ」と話がありました。入院後半、朝起き掛けのコーヒーが飲めるよう、採血を起床後即行うよう配慮してくれました。お刺身許可にも思わぬ笑みが出ました。飲食の話ばかり書いていますが、紙面では言い表せない程、治療に際し細やかな配慮をして頂きました。現在社会復帰に向け、リハビリに励んでいます。長い入院で筋肉が思った以上に衰えているようです。いきなり走れるようには言いませんが、せめて早



2008平和集會  
健康な人にしかできない愛のおくりもの  
愛・命・人権

紹介にあたり、ぜひお写真も撮影させて頂きたいと副店長さんにお話し、今回はお口添えも

グルメシティ万代店  
(北海道函館)  
グルメシティ万代店(旧ダイエー万代店)をご紹介します。

万代店の副店長さんをお願いしたところ、快く、募金箱やチャンスを店内に設置して頂くことができました。

頂いたいつも仲良くして頂いている木綿さんが撮影に応じて頂きました。(原田)

## 心からのご寄付に 感謝申し上げます

7月23日～8月22日  
ノーレート麻雀ネットワーク・ニューロン

現金	336,436円
㈱サクラホーム	現金 10,000円
㈱タクトコーポレーション	現金 10,000円
飯島孝枝	現金 2,240円
塩谷圭	現金 1,000円
山田康博	現金 9,880円
田島香雪	現金 1,940円
鈴木純子	現金 1,340円
畑中商店	現金 6,168円
匿名	現金 5,000円
匿名	現金 57,000円
しまね骨髄バンクを支援する会	現金 30,000円
第一三共株式会社	現金 1,000,000円

●白血病患者支援基金

小野塚照直	現金 20,000円
㈱クスリのアオキ	現金 537,288円
ファミリーマートFC池ノ上駅北口店	現金 2,668円
ホテルタガワ	現金 4,560円
㈱グルメシティ北海道万代店	現金 2,107円
リカーワールドモモタロウ	現金 1,376円
相原部品㈱玉島店	現金 5,060円
玉島第一病院	現金 466円
香西食糧柏台店	現金 10,168円

●佐藤さち子患者支援基金

日根和美	現金 10,000円 (敬称略)
------	---------------------

活動資金の援助をお願いします  
銀行口座  
三井住友銀行 新宿通支店  
普通 5666655  
郵便振替口座  
00150-4-15754  
特定非営利活動法人  
全国骨髄バンク推進連絡協議会



### 骨髄バンクの最新情報をお知らせする

●今年度におけるコーディネートの現状と対策について  
7月18日の常任理事会において、コーディネートの現状の問題点と対策案について審議されました。  
<コーディネートの状況> 平成19年7月～平成20年6月の患者登録数は1729人で前年同期比101%とほぼ横ばいでした。移植例数は1046例で前年同期比109%と増加しました。本年4月～6月のコーディネート件数は前年同月比99%～107%で推移し、骨髄採取件数は262例で前年同期比107%と増加しました。コーディネート期間は、平成20年4月～6月のコーディネート期間の中央値を前年同期の中央値と比較すると、ドナーコーディネート開始から骨髄採取日までが127日⇒119日でした。各行程別にみますと、確認検査行程が25日⇒24日、ドナー選定から採取日までが76日⇒71日で、各地区の差も縮まりました。特に関東地区ではドナー選定から骨髄採取日まで16.5日短縮しました。またコーディネート体制を平成19年度と平成20年7月1日現在で比較しますと、認定施設が154施設⇒162

施設、調整医師が823名⇒902名、コーディネーターが125名⇒153名となっています。  
<問題点> 認定施設や調整医師、コーディネーター数が増えましたが、関東地区でのコーディネーター不足の問題、骨髄採取受け入れが困難な認定施設の問題等、未解決の課題も少なくありません。  
<対策> 事務局内にプロジェクトチームを作り、コーディネーター数の見直し、コーディネーターの活動状況、コーディネート方法の問題点を抽出し、関東地区についてコーディネーター養成研修を行うかどうか等について検討を行います。  
●骨髄バンク推進全国大会の開催概要  
大会実行委員会を中心に準備を進めてまいりました「骨髄バンク推進全国大会」の開催概要が決定しました。「1万人のありがとう」をテーマに第1部は式典、第2部は元患者さんやドナーの方、医師、学生他の方々による「トークショー」等を行います。その他、写真展や展示コーナーも予定しています。参加は無料、予約は不要で、どなたでも参加で

(財団マンスリーレポート(8月15日発行)より抜粋)

実施概要は下記の通りです。  
■日時: 9月21日(日) 13:00～16:30  
■会場: 中電ホール(名古屋市中区東新町1中電本社ビル) 地下鉄東山線、名城線「栄」駅徒歩約5分  
■プログラム: 第1部(13:00～14:00) 式典 第2部(14:10～16:30) トークショー/「骨髄バンク誕生に関するエピソード」[提供ドナーさんや患者さん関係者の体験談]「学生質問コーナー」他  
(情報) 9月20日(土)に「2008年 名古屋発 さい帯血バンク推進全国大会」が名鉄グランドホテルで開催されます。参加無料、どなたでも参加可能です。

◆日本骨髄バンクの現状(平成20年7月末現在)

	6月	7月	現在数	累計数
ドナー登録者数	2,833	2,802	315,232	399,126
患者登録者数	235	209	2,586	25,532
骨髄移植例数	87	95	—	9,597
20歳未満ドナー	—	147	8,056 <sup>1)</sup>	—
51歳以上ドナー	213 <sup>2)</sup>	92 <sup>3)</sup>	11,346 <sup>4)</sup>	—

### 骨髄バンクNOW

◇日時: 9月20日(土) 開場13:00～ ◇会場: 名鉄グランドホテル(JR名古屋駅 桜通口、名鉄百貨店隣)  
●陸上自衛隊大宮駐屯地で骨髄バンクの講演会と登録会実施  
陸上自衛隊大宮駐屯地において骨髄バンクの講演会(6月23日)が行われ、約120人の隊員の皆様に参加いただきました。後日(7月16日)に同駐屯地内で実施されたドナー登録会では83人の隊員の皆様に登録いただきました。今回の他にも、防衛省や各地の自衛隊駐屯地で多くのドナー登録会が開催され、毎回たくさんの隊員の皆様に協力いただいております。

注) 数値は速報値のため次以降に訂正されることがあります。  
\*1) 17年3月～ \*2) 51歳以上ドナーの延長数 \*3) 51歳以上ドナーの新規登録数 \*4) 17年9月～

足で歩けるようになりたい。自宅近くの健康の森公園で、毎朝約1時間のウォーキング・ジョギングをしています。マイペースを常に心がけています。最終的には12月中旬の東浦マラソン10kmに今年も参加できたらいいなと思っています。(武藤千尋)